

これからの “まちづくり協議会” について

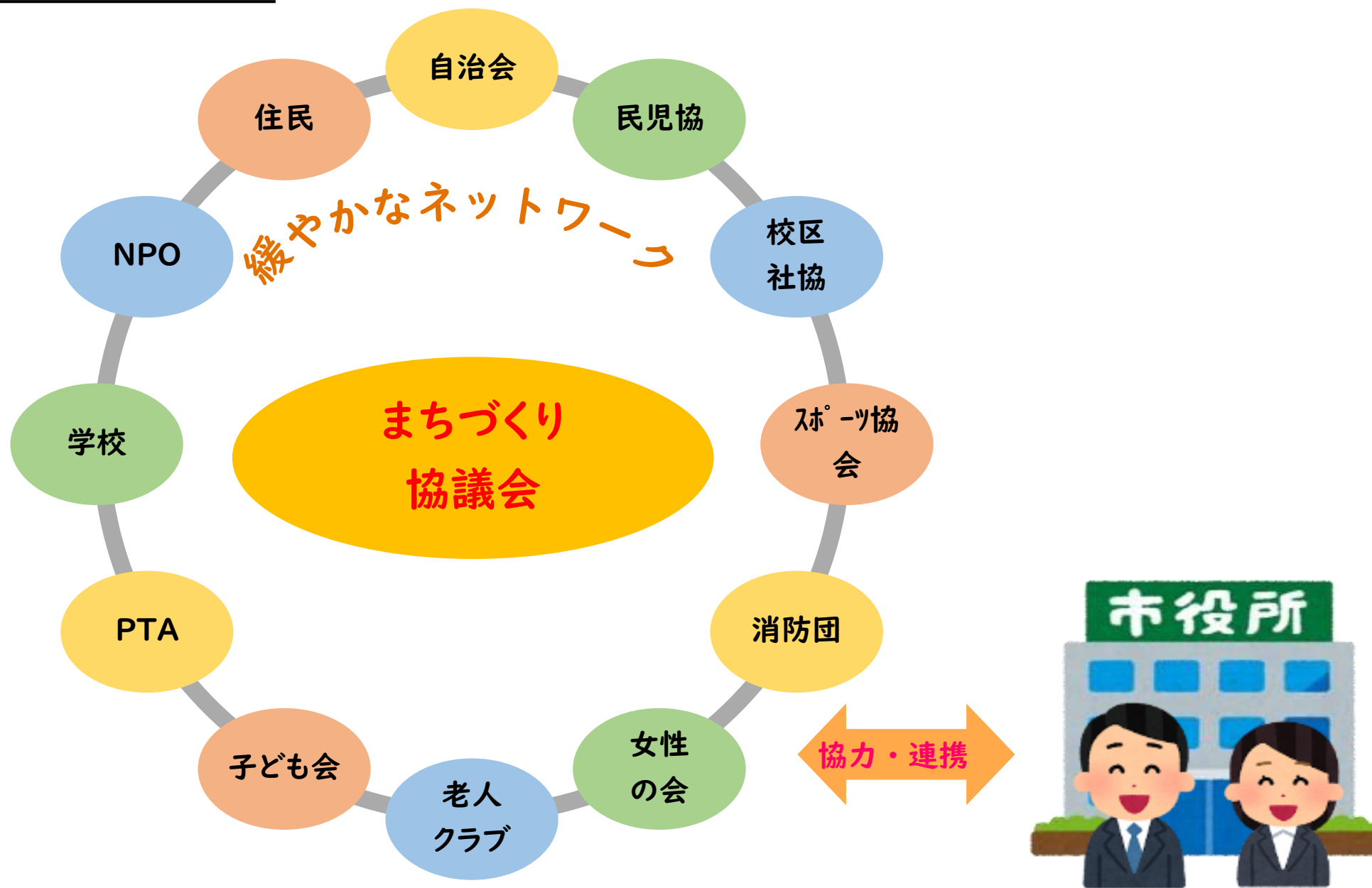


佐賀市議会 総務委員会
令和5年5月21日(日)

1. まちづくり協議会とは

- **地域の課題解決**や**地域の活性化**を図るため、住民間で話し合い、実践する組織
- 自治会をはじめとした地域の各種団体や市民活動団体、住民等で構成
- 小学校校区単位を基本として設立
- 地域住民の誰もが参加できる
- 住民主体で運営し、行政（市）が必要に応じて支援

連携のイメージ



2. まちづくり協議会ができるまで

「佐賀市地域コミュニティ活性化検討委員会」での議論（平成23～25年度）

平成23年度から平成25年度までをモデル期間と位置付け、平成25年度にモデル校区での取り組みを検証し、今後の方針を決定する。

モデル校区選定までの流れ（手上げ方式）

12月：自治会協議会にてモデル校区募集



12月～2月：モデル事業に関心のある校区にて説明会を開催



3月：希望申込みのあった校区について、自治会協議会で選定協議を行い承認を受ける。

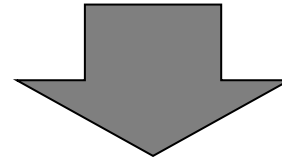


佐賀市地域コミュニティ活性化検討委員会からの提言（平成25年度）

提言内容

全校区で地域コミュニティの取り組みを進めるべき

（一定の移行期間を設ける）



市として の方針

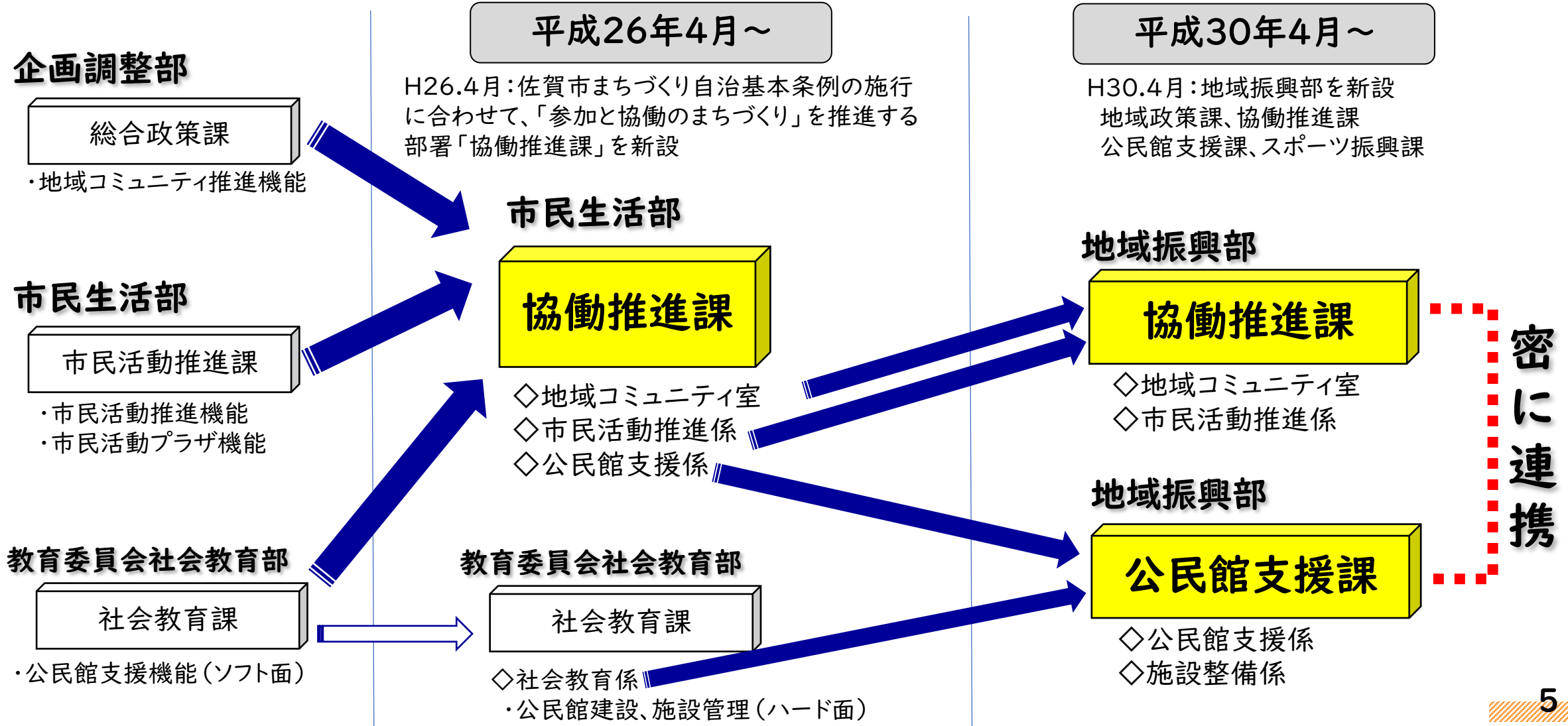
全校区で地域コミュニティの取り組みを進める

（3～5年の移行期間）

⇒モデル事業同様に募集方式を原則とする

※旧市の校区においては、「公民館・地域連携協議会」を「まちづくり協議会」への移行を目指す。

協働に関する部署の新設・再編



3. 地域コミュニティに関する市の支援

財政面での支援

- ◆協議会設立前は、印刷製本費、郵便料など市が直接負担
- ◆協議会設立後には、まちづくり協議会の運営に要する経費に対して助成
(佐賀市地域コミュニティ活性化事業補助金)

人材面での支援

- ◆地域コミュニティ室職員による校区担当制を導入
【新規の校区】主担当1名+副担当1名=2名(文書作成等の事務補助)
【継続の校区】担当1名(協議会の役員会等へ参加)

校区在住職員の自主的な参加

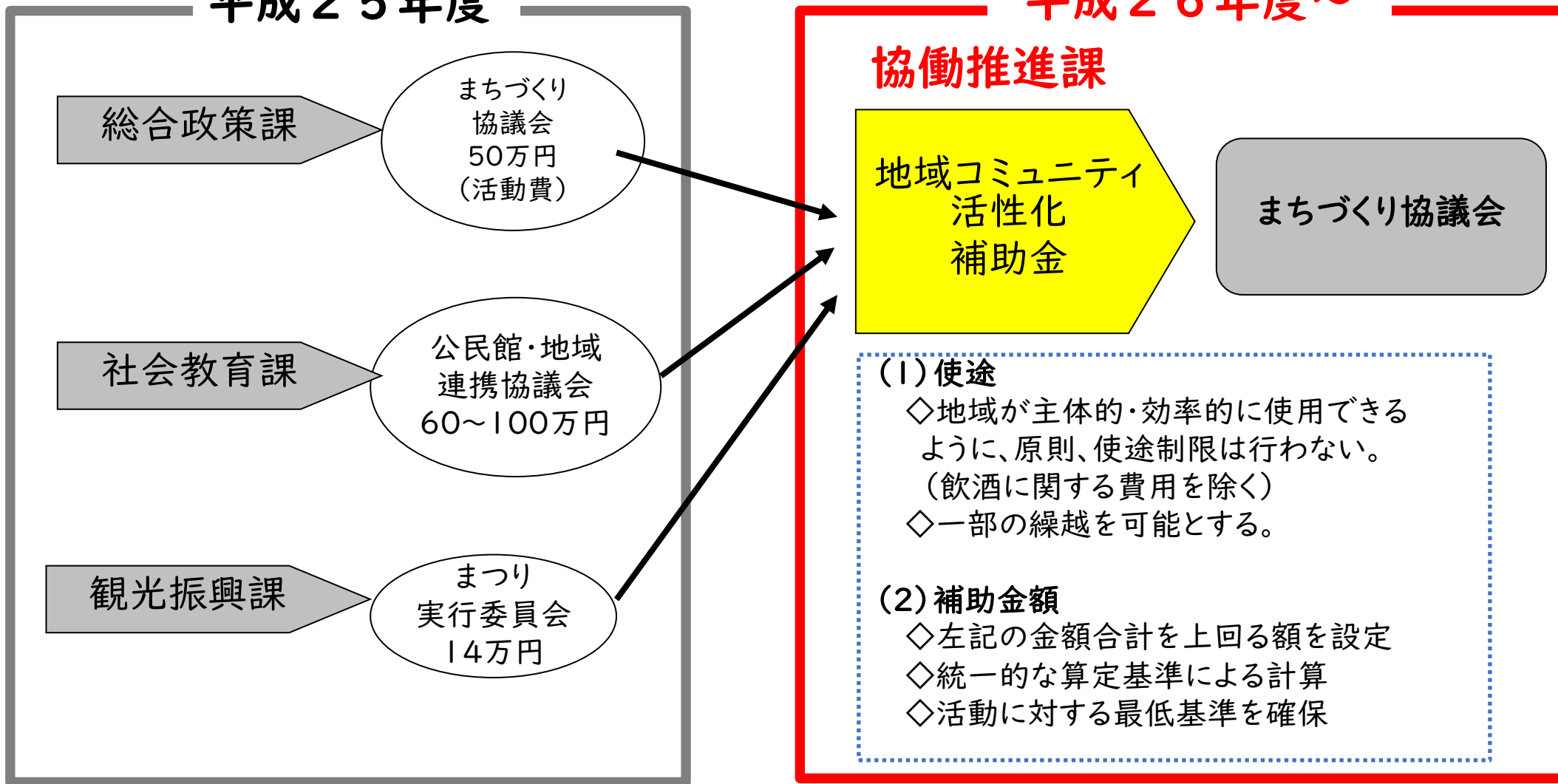
- ◆一人二役運動の一環として、校区在住職員連絡員制度※を導入し、自主的な参加を推進
※校区毎に代表者2名・連絡員5名程度を選考し、互いに誘い合って参加する仕組み

4. 地域コミュニティ活性化補助金

地域コミュニティ活性化補助金の創設

平成25年度

平成26年度～



5. まちづくり協議会の活動事例

子育て・教育



通学見守り活動（諸富）

通学見守りや子育てサロンなど、地域で子育てをする環境づくりを行っています。

安全・安心



水難救命具の設置（蓮池）

防災訓練や見守りパトロールなど、地域住民が連携した安全なまちづくりを展開しています。

地域活性化



ハロウィン（大詫間）

お祭りやイベントなど、世代間を通してみんなが楽しく交流できる場を提供しています。

暮らし・環境



美化活動（春日）

河川清掃や花植え活動など、魅力あふれる生活環境をつくっています。

福祉・健康



校区一斉ラジオ体操会（開成）

高齢者サロンや健康教室など、住み慣れたまちでいきいきと生活できる環境づくりを進めています。

6. つながるさがし

まちづくり協議会や公民館などの活動を紹介する コミュニティサイト

ここからはじまる「人と人がつながる」コミュニティ

つながる さがし



<https://www.tsunasaga.jp/>

つながるさがし 検索

主な特徴

- ◇地域住民がライターとなって情報発信
- ◇パソコン、スマートフォン等で閲覧可能
- ◇地域のイベントカレンダーの掲載
- ◇回覧板の内容も掲載可能



令和4年度富士まちづくり協議会定期総会が開催されました。

フルコキャンプの人
2022年6月22日 22:09

令和4年5月30日(月)に富士公民館にて令和4年度富士まちづくり協議会定期総会が開催されました。昨年11月に発足したまちづくり協議会の初めての定期総会でしたが、7議案が滞りなく議決されました。まだ発足して間もないまち協ではありますが、一步一步進んでいきたいと考えています。



この写真で見るお問い合せ先
富士公民館

7. 地域を取り巻く状況

核家族化、都市化
生活圏の拡大



地域での人と人の
つながりが希薄に

人口減少・少子高齢化
市町村合併



地域の組織機能が
弱くなっている

人口減少・少子高齢化
災害の頻発



新たな地域課題や
役割の発生

市民の要望の多様化
画一的サービス提供の限界



行政によるきめ細かな
対応が困難

8. 地域における各種活動の課題

人材面



役員のなり手がいない

運営を手伝う人がいない

住民参加の面



活動に住民の理解が得られない

催しへの参加者が少ない

運営面



団体間での連携が乏しい

事務処理の体制が弱い

予算が足りない